

文部科学大臣杯・国土交通大臣杯

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2010

競技会概要

- 1 開催趣旨 全国の加盟ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラーが一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合い、その向上を図るとともに海外チームとの交流により国際感覚を磨き、その視野をひろげ、また地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙、普及させて生涯スポーツの発展に貢献することにあります。
- 2 共同主催 社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 J.J.Y.U.と云う)
東京都ヨット連盟
- 3 後 援 文部科学省 国土交通省
東京都 江東区
財団法人東京都体育協会 江東区体育協会
財団法人日本セーリング連盟(以下 JSAF と云う)「承認番号 H22-22」
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(以下 YMFS と云う)
日本オブティミストディンギー協会(以下 OP 協会と云う)
日本シーホッパー協会 セーリングスピリッツ協会
日本レーザークラス協会 日本 FJ 協会 日本 4 2 0 協会
株式会社舵社
- 4 特別協賛 財団法人東京都スポーツ文化事業団
アビームコンサルティング株式会社
- 5 協 賛 エスビ - 食品株式会社 大塚製薬株式会社
若洲シーサイドパークグループ
- 6 協 力 東京海上保安部 東京湾岸警察署 城東消防署 臨港消防署
東京都漁業協同組合連合会 東京湾遊魚船業協同組合
特定非営利活動法人マリンプレイス東京 株式会社ジューイ企画
夢の島ヨットクラブ 江東区ヨット連盟 中央区ヨット連盟
江東区立小中学生セーリング部
日本大学松戸歯学部ヨット部 早稲田大学高等学院ヨット部
東京都立大島海洋国際高等学校 東京都立日本橋高等学校
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2010 参加クラブ指導者・保護者

- 7 運 営 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2010 実行委員会
- 8 競技会役員
- | | | |
|-------|-------|-----------------------|
| 名誉会長 | 石原慎太郎 | 東京都知事 |
| 名誉副会長 | 山崎孝明 | 江東区長・東京都ヨット連盟顧問 |
| 会長 | 石原伸晃 | J.J.Y.U.会長・東京都ヨット連盟会長 |
| 副会長 | 山崎達光 | JSAF 会長 |
| | 佐藤精知夫 | J.J.Y.U.副会長 |
| | 藤沢誠一 | 東京都ヨット連盟副会長 |
| 委員長 | 伊藤雅宣 | J.J.Y.U.専務理事 |
| 副委員長 | 北住威彦 | 東京都ヨット連盟副会長 |
- 9 会 期 平成 22 年 7 月 30 日(金)、31 日(土)、8 月 1 日(日)の 3 日間
- 10 行事日程
- | | | |
|-------|----------|-------------------|
| 開会式 | 7 月 30 日 | 16 : 00 ~ 17 : 00 |
| 国際交流会 | 7 月 30 日 | 18 : 00 ~ 20 : 00 |
| 競技 | 7 月 31 日 | 9 : 25 ~ |
| | 8 月 1 日 | 8 : 55 ~ 13 : 00 |
| 閉会式 | 8 月 1 日 | 15 : 30 ~ 16 : 30 |
- 11 会 場 若洲ヨット訓練所
〒136 - 0083 東京都江東区若洲 3 丁目 1 番 1 号
連絡電話 03 - 5569 - 6703 (指定管理者 若洲シヤド`ハ`ク`グループ)
開会式・国際交流会会場： マリナーズコート東京
〒104 - 0053 東京都中央区晴海 4 - 7 - 2 8
連絡電話 03 - 5560 - 2521
競技海面： 東京湾若洲沖 (上級者用、初級者用の 2 海面使用)
閉会式会場： 若洲ヨット訓練所内
- 12 競技種目
- | | | |
|-------------|---------|----------|
| OP 級初級者 | OP 級上級者 | レーザー 4.7 |
| シーホッパー級 SR | ミニホッパー級 | |
| セーリングスピリッツ級 | FJ 級 | 420 級 |
- 13 競技内容 (1)種目別個人対抗レース
国内ジュニアヨット種目別個人対抗レース
パンパシフィックジュニアヨット種目別個人対抗レース
(2)ジュニアヨットクラブ対抗レース
国内ジュニアヨットクラブ対抗レース
パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レース
詳細は別紙「レース公示」の通りです。

- 14 賞
- (1)個人表彰
- 特別表彰 文部科学大臣杯 国土交通大臣杯
 東京都知事杯 江東区長杯 東京都ヨット連盟会長杯
 小澤吉太郎杯 海王丸杯 奥村純雄杯 YMFS 理事長杯
- J.J.Y.U.表彰 入賞メダル、表彰状
- 国際交流表彰 特別協賛アビームカップ、表彰状
- (2)団体表彰
- 国内ジュニアヨットクラブ対抗レース J.J.Y.U.会長杯、入賞盾、表彰状
 パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レース
 特別協賛アビームカップ、表彰状
- (3)特別賞
- 国内ジュニアヨットクラブ対抗レース優勝チーム(選手3名)を海外研修に派遣、その渡航費を援助する。
- 15 参加資格
- J.J.Y.U.に登録しているジュニアヨットクラブの提出する当該年度ジュニアセーラー名簿記載の選手
- 万一、未登録クラブの選手の場合は参加申込み時までにクラブの登録をして参加資格を取得して下さい。
- 主催者が招待した海外チームの選手
- 招待する海外チームの国は次の3ヶ国
- 韓国 オーストラリア ニュージーランド
- 主催者が参加を認めた選手
- 各級の年齢制限(平成22年4月2日現在)を満たす者
- *OP級・・・・・・・・・・・・・・・・・・8歳以上中学生以下
- *ミニホッパー級・・・・・・・・・・・・・10歳以上中学生以下
- *シーホッパー級SR、レーザー4.7、セーリングスピリッツ級
 FJ級、420級・・・・・・・・・・・・・・中学生以上高校生以下
- 国内参加選手は2010年度JSAF会員である者
 (会員未登録の場合は参加受付時に会員登録の申込みを受け付けます)
- 16 参加料等
- | | | | |
|-------------|-----|--------|----------|
| 選手 | 参加料 | 8,000円 | (交流会費込み) |
| 指導者・保護者 | 参加料 | 5,000円 | (交流会費込み) |
| 同伴小中高生 | 参加料 | 2,000円 | (交流会費のみ) |
| 弁当代 | | 1食700円 | (飲物付き) |
| サポートボート持込み料 | | 2,000円 | (1艇に付き) |
- 17 参加申込方法
- 平成22年7月1日(木)までに所定の「参加申込書」、「参加選手リスト」に必要事項を記入の上、下記の申込み先に郵送で、またメール送信可能な方はファイルの添付送信で参加を申込んで下さい。後者の場合、ファイルの様式は下記の申込み先メールアドレスにお問合わせ下されば返信いたします。

同時に参加料等は同封の専用「郵便払込取扱票」を用いて別途下記の振込先に振込み手続きをして下さい。

《参加申込み先》 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-37-14
東京都ヨット連盟副理事長 落合光博
TEL&FAX 03 - 3722 - 7745
E-mail hiro-ochiai-1@k6.dion.ne.jp

《参加料等振込先》郵便口座番号 00190-1-713831
口座名義 社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

- 18 宿泊の紹介 競技会期間中の宿泊については参加申込書に同封の「宿泊施設のご案内」を参考の上、各自でお申込下さい。この時期は夏休みの予約で大変混み合いますので6月20日頃までに、予約を済ませて下さい。
- 19 サポートポート 「参加申込書」第5項に必要事項を記入の上、申込んで下さい。その時、申込み料2,000円(1艇につき)も参加料と一緒に振込んで下さい。
- 20 留意事項
- * 本競技会は選手を教育、指導する立場から、その所属するクラブの指導者・保護者が競技会及びレース運営について意見や疑義を申したてる場合は、参加申込みをした指導者・保護者のうち、あらかじめ届けのあった代表者1人(J.J.Y.U.公認指導員であること)に限定されるものとします。
 - * 本競技会は選手の安全を第一とするために、出艇及び帰着申告はその所属する指導者・保護者が責任をもって自分のクラブの全選手についての届出をすることとします。
 - * 競技会参加者は自らスポーツ傷害保険及び損害賠償責任保険に加入して下さい。
 - * 競技会参加者は健康保険証(カードまたはコピー)を持参して下さい。
 - * 熱中症予防のため、帽子・パラソル・テント等の日除け及び飲料水を用意して下さい。

【問合せ先】 実行委員会事務局
東京都ヨット連盟副理事長 落合光博
TEL&FAX 03 - 3722 - 7745
E-mail hiro-ochiai-1@k6.dion.ne.jp

お預かりした個人情報については、
本競技会の運営以外には使用いたしません。